

③スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

スリランカ「日・スリランカ外交関係樹立70周年記念イベント」 (JICA海外協力隊、文化/スポーツ)

2022年11月27日



子どもたちとのサッカーの親善試合

背景/課題

2022年スリランカは非常に深刻な経済危機に陥り、同年5月にはコロンボで大規模なデモが発生し、大統領は失脚した。政治的混乱に加え、経済面でもスリランカルピーの暴落、深刻な燃料不足、物価の大幅な上昇などが起こり、多くの若者は将来への不安を抱えている。

目的

スリランカは70年前に日本を国際社会の一員として受入れるきっかけを作った国である。日本人ができることは限られているが、スポーツを通じた活動でスリランカの若者に笑顔と元気を届ける。

活動内容

- ワールドカップ日本対コスタリカ戦をスリランカ国内2か所で観戦
- Sputnik日本語教育センターで、隊員の活動紹介(環境教育、幼児教育、障害児者支援)と日本文化紹介を実施
- 円借款事業で支援する村の学校では、出身・性別・年齢・言語・民族が異なる子どもたちを編成したチームでサッカー親善試合を開催

成果

- サッカーを通じて、異なる環境の子どもたちの仲が深まった。会場の熱気はすさまじく、会場中に響きわたる子どもたちと隊員による“ニッポン!”という力強い声援や拍手によって、国境や民族を越えた絆や団結力が生まれた。
- 国・政治・経済が困難な場面でもスポーツを介して人は繋がり、目標に向かって協力し、一緒に感動することを可能にした。